

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（平成 25 年度第 1 回）議事録

日 時：平成 25 年 6 月 25 日（火）13:30～17:00

場 所：倉敷古城池高等学校・図書館

参加人数：10 名（小橋・吉信・神田・近藤・加茂

金地・川島・木下・大西・二熊）

司 会：小橋（岡山一宮） 記 録：金地（倉敷青陵）

1. 開会

2. 連絡事項（小橋）

(1) 岡山県高等学校図書館司書 HP について

- ・実務の手引きの改訂も、最終的に HP に掲載するため HP 担当が主導で行う
ML のファイル共有内に word ファイルがあるので、改訂して pdf 化して HP 掲載
- ・HP の更新研修を毎年行って欲しいという意見あり

(2) 高等学校図書館間サポート事業について

- ・どこかのタイミングでまとめて発表する

※発表ローテーションについて

- ・発表したい内容があれば、ローテーションで当たっている地区に交渉して変更すれば良い
- ・変更の記録・事務局や理事会への連絡は、変更依頼をした側が調整を行う
（ネットワーク研究委員会を介さなくて良い）

(3) 学校図書館管理システムについて

- ・統一システムへの移行の検討は、ネットワーク研究委員会主導では実施しない
※H21 年度からの緊急雇用創出事業にて全高校がシステム化し、横断検索については県立図書館が
主導でシステム構築を行っているため、現段階で統一システムを検討する必要性がないため
- ・各校でシステムを変更する際には ML での「システム比較一覧」を活用してほしい

3. 協議

(1) 今年度活動計画（小橋）

- ・役割分担一覧の確認（懸案事項が増えれば変更も有）
- ・ネットワーク研究委員会の目的・計画確認

(2) 県立図書館による学校図書館支援用図書について（大西）

- ・昨年度の同時期に比べて利用が多く、有り難い。今後も引き続き利用してほしい

- ・予約する時点で何校待ちか表示されないため、予約の多いセットについては電話で連絡している
急ぐ場合は電話で問い合わせしてほしい
- ・7月はじめに、各学校あての選定依頼を配布する
- ・専門書はセット本ではなく、館内用図書に予約・リクエストしてほしい
- ・旅行ガイドブックは1年に1方面1セット増程度となる
普通科高校・実業高校でやりくりしてほしい

【質問・要望】

- ・学校間の資料配送はできないか（学校セットの予約が多いから、などの理由がある場合）
⇒県立図書館に持ち帰って検討する
（場合によってはネットワーク研究委員会から要望書作成も）
- ・学校あての選定依頼への返答は多いのか
⇒昨年は10件以下だが、セットのことも知ってもらうためにも配布している
- ・学校セットをどのように利用してほしいと思っているか（県立図書館側の方針について）
⇒学習支援・授業支援
選定依頼の中に「こういう本・セットを、こういう授業で利用したい」と記入できる欄も設けている
- ・利用が0だったセットの運用方針は？
⇒もう少し様子を見るが、解体も視野に入れている
- ・市立高校への支援は？
⇒セット本は貸し出せないが、他の本は市立図書館で依頼して、県立から市立まで搬送する形で利用可能
遠方市町村立学校に向けた搬送便の試行も行っている（現在高校は参加なし）

(3) 学校図書館間横断検索・相互貸借について（二熊）

- ・ワーキンググループ（以下WG）での試用（～8月末）→改善（～12月末）の予定
- ・担当が異動したWG校への説明・サポートを行う
- ・資料同定は(1)TRC-MARC (2)ISBN+出版年で行うようにしている
システムによってデータ形式が異なり、同定が困難である
ISBNでの資料同定は、978の有無やハイフンの有無で同定できなくなる
- ・同定のためには、データ修正のマニュアルをネットワーク研究委員会で作成する必要がある
どこまで同定できるようにすべきか、試用を元に検討する
利用者に配るID・パスワードからは、自校のデータのみ閲覧可能のため、同定については気にしなくて良い
- ・データを掲載しない学校のIDからも、他校のデータは検索可能
⇒周知した上で、参加するかどうか決めてもらえば。
- ・相互貸借の各校規約のテンプレを作成
草案作成（小橋）→ネットワーク研究委員会で検討→各部会に報告・MLで流す

(4) 岡山の高校図書館プレゼンツ「でーれーBOOKS」について

- ・コンセプト：高校生に読んでほしい本を選び、読書の素晴らしさを広める
- ・スケジュール

時期	ネットワーク研究委員会	投票者
9月末まで		エントリー本のリスト提出 (各3冊・学校で1枚)
10月上旬～ 10月中旬	コメント付きリスト作成・HP公開	
10月中旬～ 11月上旬		一次投票 (各5冊・先生参加可) (全エントリー作品の中からノミネート作品を選ぶ)
11月末まで	集計	
12月～1月末	ノミネート作品発表(各5冊)	二次投票 (10冊からベスト3選んで投票・先生参加可)
2月上旬	1～3位にポイント付与で集計 最終順位発表 得票数トップが「でーれーBOOK大賞」	
～4月		在校生、新入生に向けて広報

- ・MLなどで広報、参加呼びかけ
- ・投票フォームの作成(FC2など利用)
- ・今年度実施するものは「でーれーBOOKS 2014」とする

(5) 規約について

- ・「現行の高教研の規約で問題ない」と高教研代表役員会で判断された
- ・他支部の司書部会研修にも出張扱いで行けるようにする
第3回研修の派遣文書から、各支部庶務に「他支部からの参加も可能」の一文を入れて起案してもらう(他支部からの参加を受け入れにくい内容の時は入れなくて良い)
MLでも派遣文書を流して、他支部の参加希望者はそれを利用して校内で参加したい旨を説明する

(6) 平成25年度合同司書部会について

- ・会場候補：岡山大安寺高校
合同研修案：読み聞かせ(県立図書館から講師を呼ぶ)

4. その他

(1) サポート事業について（神田）

- ・出張を伴うサポートについて周知が不十分のため、年度当初に学校あてにお願い文書を出す
草案作成（神田）（誰の名前で出すか（事務局長か、ネットワーク研究委員長か））
- ・基本的に出張はなし、レイアウトや除籍については極力支部研修を利用すること
- ・学期に一度はサポート校と連絡を取り合うように
（問い合わせがない学校に様子を聞く・以前サポートに行った学校にその後どうかを聞くなど）

(2) 次回日程

- ・9月～10月上旬
でーれーBOOKSのエントリー状況確認や一次投票準備など